

×

ふたばの復興・未来を
みんなとともに考えよう!

2050年の双葉地域を見てみよう

みんなにとって福島
の「復興」とは?



* 図はイメージです

「廃炉」って「復興」と関係する?



未来の双葉地域 を担っていく人材として
高校生・高専生 が考える地域の
復興・未来

ふたば



ワークショップ

2022.8.06-07 Sat. & Sun.

参加費無料

(現地開催・参加証明書進呈)

福島県在学高校生・高専生対象

8.06(Sat.)13:00 start – 8.07(Sun.)16:30 end

(スケジュールの詳細は裏面参照)



*スケジュール (予定) *

【8/6(土)】 (8月6日のツアーは1時間程度後ろにずれる可能性があります)

- 12:45 双葉駅集合 (参加者の居住地等を踏まえてバス手配など調整・変更予定)
- 13:00 東日本大震災・原子力伝承館 展示見学
- 14:00 双葉町・浪江町バスツアー
- 15:00 大熊町バスツアー (調整中)
- 16:10 宿泊場所到着 19:00 レクリエーションを予定

【8/7(日)】

- 8:50 宿泊場所出発 9:10 Linkる大熊 (会場) 到着
- 9:30 未来ワークショップ開始
ガイダンス、2050年の双葉地域・福島第一廃炉についてレクチャー、
質問の作成
- 12:20 質問への回答、グループワーク
1.2050年に実現したい双葉地域の未来像を描く
2.未来像達成のために解決すべき双葉地域の課題を書き出す
3.政策提言を考える
プレゼンテーション アンケート記入
- 16:30 解散 (ワークショップ終了)

主催：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 (NDF)

主管：特定非営利活動法人地域持続研究所 (千葉大学研究グループOPoSSuM)

日時：令和4年8月6(土)13:00～7(日)16:30 (7日は途中1時間の昼休みを挟みます)

会場：Linkる大熊 (双葉郡大熊町大川原南平1207番1 交流ゾーン) ほか

対象：福島県在住・在学の高校生・高専生 (各校6名程度、要事前申込)

*申し込みは学校を通じてしてください。

当日必要なもの：事前配布資料、筆記用具

(事前配布資料は、学校に事前にまとめて送付予定ですが、ご希望があれば、直接申込み
いただいたご住所に送付します。)

参加費：無料、参加者には参加証明書を進呈。

その他：入手した個人情報は厳重に取り扱い、本事業の目的以外では使用いたしません。
当日、ワークショップの様子を映像、写真撮影させていただきます。また、撮影した映像や
写真は、NDFのホームページやSNS、各種メディア等で公表する場合があります。また、
ワークショップを経て選出された一部参加者には、第6回福島第一廃炉国際フォーラムDay1
(令和4年8月28日予定)にご参加いただき、代表して成果を発表していただく予定です。
なお、交通費はNDFが負担し、宿泊、8月6日の夕食、8月7日の朝食及び昼食もNDFが
手配・負担予定です。

問い合わせ：不明な点は、担当の先生を通じて問い合わせしてください。

千葉大学研究グループOpoSSuMについては、以下をご参照ください。

<https://opossum.jpn.org/>

